

学びを深める指導・支援の重要ポイント

過程と基本的な学習活動

つかむ

1 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。

- ①探究課題と出会う。
  - ◇共通体験活動を行う。
  - ◇専門家の話を聞く。 など
- ②単元の課題を把握する。
  - ◇気付きや疑問を出し合う。
  - ◇理想と現実を比べる。 など
- ③追究の見通しをもつ。
  - ◇どのようなことに取り組んでいくか、解決に向けた予想や仮説を立てる。 など

追究する  
1  
2

2 単元の課題に基づき、個人・グループ等での課題を設定し、追究する。

- ①課題の設定
  - ◇追究の見通しを基に、自らが取り組む課題（個別課題）を設定する。
  - ◇何をどのように追究するか、具体的な見通しをもつ。
- ②情報の収集
  - ◇設定した課題の解決に向けて、見通しを基に必要な情報を収集する。
- ③整理・分析
  - ◇収集した情報や考えを整理・分析する。
- ④まとめ・表現
  - ◇設定した課題に対する取組をまとめたり、実践したりし、新たな課題につなげる。

3 新たな課題を見だし、継続して追究する。

- ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現

まとめる

4 単元全体の学習を振り返る。

- ◇単元全体を振り返り、自分の変化や成長を見つめ直す

個別最適な学びに関わる学習活動

協働的な学びに関わる学習活動

教師の指導・支援

1人1台端末の活用

大型提示装置・教師用端末の活用

<例>  
理想と現実のずれ、隔たりが生まれるような視覚的な資料を提示する。  
・動画、画像を提示する。  
・表、グラフ、ランキング等の資料を提示する。

【表現】  
○文章作成ソフト等で、探究課題について疑問や調べたいことを入力し、教員用端末等に送信する。

【協働での意見整理】  
○大型提示装置や端末等を活用し、出し合った意見の分類・整理、また、キーワードを記入する。  
○ウェビング等、考えるための技法を活用する。  
→個々の思いを基に、単元の課題の設定につなげる。

・大型提示装置等で探究課題に関する資料の提示をする。

・教員用端末等に送信された子供たちの疑問や思い等を大型提示装置等に一覧で表示し、探究課題を決定する。

【表現】  
○文章作成ソフトで、個別課題を入力し、教員用端末等に送信する。

【表現】  
○子供たちが考えたキーワードを大型提示装置等に表示する。

【協働での意見整理】  
○大型提示装置や端末等を活用し、出し合った意見の分類・整理、また、キーワードの記入、ウェビング等、考えるための技法を活用する。  
→単元の課題から個別課題の設定や、新たな課題の設定につなげる。

・教員用端末等に送信された個別課題を大型提示装置等に表示する。

・教員用端末等に送信された個々が考えた単元の課題の言葉を大型提示装置等に一覧で表示する。

<例>  
Web会議システム等を利用して課題の解決に向けた情報収集を行う。  
・地域のことについて市役所や役場の職員や企業の方に質問する。  
・小中学校や他県の学校とつなぎ、意見交換を行う。  
・海外で活躍する方などにインタビューを行う。

【調査活動】  
○双方向通信を用いて、情報収集を行う。

<例>  
・家族へのインタビューを録画する。  
・発表資料として活動の様子をまとめた動画を編集する。

【調査活動】  
○観察や体験の様子を、写真や動画で撮影する。

【協働での表現活動】  
○学んだり体験したりしたことを整理し、プレゼンテーションソフトや動画を用いて表現する。  
→様々な表現方法を主体的に選択できるようにする。

<ICT活用の視点>  
子供が、課題の解決に向け、より探究的な見方・考え方を働かせたり、教師が子供の学びに即した効果的な支援ができたりするなど、深い学びが展開されるようにすることが大切です。

【学習データの蓄積】  
○端末等へ単元の課題や振り返りの内容を記録する。  
→次時の学習への見通しを明確に持てる。  
→自己の学びの確認ができる。

・大型提示装置等での個々の振り返りを映し出したり、紹介したりする。